

**齋藤 実悠 さん**

立命館大学 在学中合格

最終合格先：国家一般職  
 国税専門官  
 裁判所事務官一般職  
 大阪市

LEC受講コース：2021年合格目標 スペシャルコース  
 受講形態：通学受講 / LEC受講本校：神戸本校



## 私が合格・内定を獲得できた理由

**友人と情報共有し切磋琢磨した**

私はLECに入校するまでは、公務員試験を受ける友人が1人もいませんでした。LECに入校してから、友人を作って、模試の点数を競い合ったり、説明会や面接の情報を共有し合うことで、協力して公務員試験を乗り切ることができました。勉強、面接共に1人ではモチベーションの維持が難しく、乗り越えることができなかったと思っています。LECに入校し、同じ境遇の友人を作れたことが、合格に一番近づいたと実感しています。

## 私がLECを選んだ理由

**家から近く、対策のプランがわかりやすかった**

公務員試験を受験すると決めてから、いくつかの予備校の資料を請求しましたが、その中でもLECが1番家から近かったこと、公務員試験対策のプランがわかりやすかったことからLECに決めました。正直、最初は本当に何もわからなかったのでLECを選んだことについては直感的な部分もありましたが、結局LECを選んで大正解だったと感じています。先生だけでなく事務の方々、合格者アドバイザーの方々からもとても優しくしていただき、試験に集中することができました。

## 私の勉強方法のポイント

**あまりやりすぎないこと**

本番が近づくとつれて自分の勉強の苦手な部分や手付かずの部分が増え、どんどん露呈してきて、どんどん勉強が辛くなっていきました。直前期は詰め込んで勉強もしましたが、どれだけ焦っていても10時間を超える勉強はしませんでした。私はそれ以上勉強してしまうと、逆に集中できず勉強の質が下がってしまうと感じていたからです。勉強時間を余分に確保することよりも、限られた時間の中で質の良い勉強をすることができるよう心がけていました。

## 私が公務員を目指した理由

**父が公務員だった**

将来の就職先を決めるにあたって、やはり両親の仕事については少なからず影響を受けたと感じています。平日は大抵19時までに帰宅し、土日は家にいる父を見て育ったため、公務員という職業はとても魅力的だと思っていました。また、民間の就職活動は指針が全くない中1人でやらなければいけないのに対して、公務員試験は、とりあえず最初は勉強しなければならないというようにやるべきことが明確であったということも公務員を目指す決め手になりました。

## 私の面接試験エピソード

**言葉遣いに問題大あり**

面接練習でも何度も言葉遣いは注意されてきていましたが、結局本番でもあまり直っていなかったのではないかと感じています。面接の際にやっぱり、という接続詞を使ってしまったこともありますし、母のことをお母さんと言ってしまったこともありました。場に応じた正しい言葉遣いはするに越したことはありませんが、自分が考えていることや思ったことを素直に笑顔でハキハキとこたえることができれば、多少の言葉遣いのミスは合否には全く影響しないと思います。